キャリア支援/基礎科目

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年期	単位数
基礎ゼミ１～６	一般教養と社会人基礎力を身に付ける	小宮　全 濱 雄亮・田島 樹里奈 宗像 俊輔・関　雄介 佐古 仁志・田邉 友昭	１年次通年	4

科目区分	基礎	キーワード	社会人基礎力、レポート、論文、チームワーク、履歴書

ディプロマポリシーとの対応	1.　時代や社会の要請に対応できる能力
カリキュラムポリシーとの対応	1.　一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける
事前に受講するとよい科目	特になし
オフィスアワー	授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。

講義の目的	基礎ゼミは、交通、観光、経済・経営・情報などの専門知識を学ぶ上での基礎として必要とされる、一般教養と社会人基礎力を身につけることを主たる目的としている。特に就職活動に必要な社会人基礎力や2年生の専門ゼミの卒業論文を書くためのレポートの書き方や自由研究論文を通して、個々の成長と社会に通用する人材を育てます。
到達目標	少人数制のメリットを最大限に活かしてアクティブワーク形式に授業を運営していきます。内容としては、1年を通してグループでの自由研究論文の調査・発表・執筆、前期は個人でのレポート作成や東交祭の準備、後期は、履歴書の書き方を行います。社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）の向上と自由研究論文の作成と履歴書の書き方を習得し2年生の専門ゼミの卒業論文への基礎を学ぶことを到達目標とします。
講義内容	社会人基礎力は実社会で必要なコミュニケーション能力に重点が置かれており、また企業側からの要請が強く反映されているため、就職活動に臨む前に全員が身につけておくべきものと考えられます。前期は、グループによる自由研究論文のテーマ設定、レポートの書き方、東交祭（学園祭の準備）を行いながら社会人基礎力を身につけます。後期では、自由研究論文のアウトライン（構成）と発表、そして執筆作業、さらに履歴書を書くことによって、人を説得する文章の書き方を学習します。

講義スケジュール

	タイトル	内容
第１講	前期オリエンテーション	履修の説明、本学の歴史、自由研究論文と東交祭の役職説明、自己紹介
第２講	自由研究論文（１）	グループ分けに向けて、学生同士が興味関心を伝え合う
第３講	合同ゼミ（１）	自由研究論文の進め方、東交祭の説明
第４講	自由研究論文（２）	興味関心のあることを書く
第５講	自由研究論文（３）	グループ分けとテーマの検討
第６講	自由研究論文⑷ 東交祭の準備⑴	文献の調査、資料の調査、企画作成（第3希望まで決める）
第７講	レポートの書き方（１）	レポートを読む
第８講	東交祭の準備（２）	企画の具体化
第９講	レポートの書き方（２）	自由研究論文のテーマに沿ったレポートを各自で作成する
第10講	自由研究論文（５）	テーマの仮決定
第11講	自由研究論文（６）	ビブリオバトル(ゼミ内で文献紹介)
第12講	自由研究論文（７）	アウトラインの作成・決定（序論・本論・結論を決める）
第13講	レポートの書き方（３）	レポートの発表
第14講	東交祭の準備（４）	当日のオペレーションと注意事項の確認
第15講	前期まとめ	自由研究論文で各自が夏休み中にやることを決める
第16講	後期オリエンテーション	夏休みの報告、東交祭の結果報告
第17講	自由研究論文（８）	論文の書き方①基礎ゼミワークブックを利用した学習
第18講	自由研究論文（９）	アウトラインの作成と発表
第19講	自由研究論文（１０）	論文の書き方②問題提起の設定の仕方
第20講	履歴書を書く（１）	共通プリントを利用した説明
第21講	自由研究論文（１１）	論文の書き方③学生論文集読み、論文の形の確認。
第22講	自由研究論文（１２）	論文の書き方④注意すべき文章表現など
第23講	履歴書を書く（２）	履歴書を書いてみる
第24講	履歴書を書く（３）	各自の履歴書を発表・批評
第25講	自由研究論文（１３）	論文の執筆
第26講	合同ゼミ（２）	履歴書を書く（４）人を説得する文章の書き方の講評会
第27講	自由研究論文（１４）	ゼミ内での発表
第28講	自由研究論文（１５）	論文執筆
第29講	合同ゼミ（３）	自由研究の仮提出と発表
第30講	まとめ	論文の提出

指導方法	演習形式で進め、自由研究論文に関する文献調査、グループワーク（テーマ設定やアウトラインの作成、ディベートなど）、研究発表、履歴書の書き方などを行います。グループワークが中心になるので、積極的な参加が求められます。個人では、2 年生の卒業論文執筆に向けて、前期はレポートの書き方を学び、提出、後期は、自由研究論文の作成を重視します。		
事前学習	自由研究論文・レポートを執筆するための調査活動、グループ、ゼミでの打ち合わせ、東交祭の模擬店準備、履歴書の執筆など、教員の指示に従って、発表や実行をするための準備を行う必要があります。1 時間 30 分程度の事前学習時間を見込みます。		
事後学習	授業後に、自由研究論文、レポート、履歴書などの発表時に指摘されたことを取り入れ、更に情報収集、調査、見直しをしていきます。1 時間 30 分程度の事後学習時間を見込みます。		
成績評価方法	平常点（授業内課題、発表、議論への参加等）60%、自由研究論文　40%を総合して評価します。なお、自由研究論文・レポートの提出、東交祭の参加は必須です。		
テキスト	『基礎ゼミワークブック』東京交通短期大学　（授業内で配布予定）		
参考書籍	特になし		
実務家教員による授業		**教員経歴**	
特記事項	オリエンテーション時に、プレイスメントテストによるクラス分けを行います。		